

NADA

ミニドットプリンタ

MODEL

MP-310ES

操作
説明書

このたびは、ミニドットプリンタをお買いあげいただき、
まことにありがとうございました。

正しくご使用いただくために、この操作説明書をよくお読み
のうえ、末永く、ご愛用くださるようお願い申し上げます。

ナダ電子株式会社

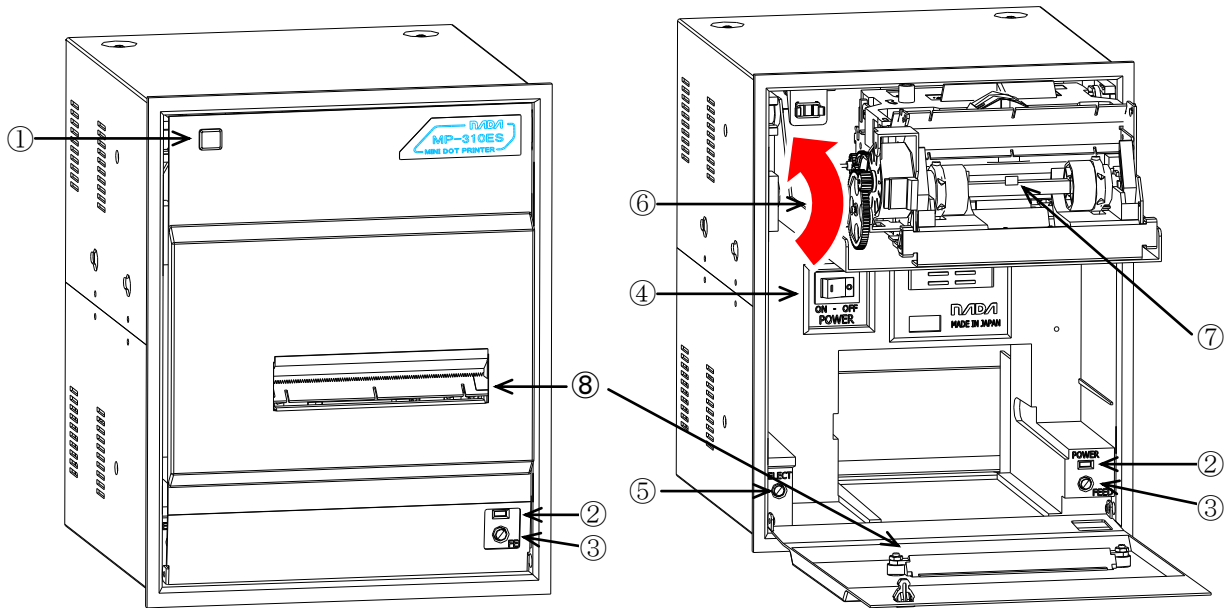
REV. 1.0
技2S-190531

改訂記録

REV NO.	ページ	改訂内容	日付
1.0	5, 6 7 9 11 12	<input type="checkbox"/> 用紙ガイドのセット方法 赤字注意部分 追記 <input type="checkbox"/> 用紙のセット 赤字注意部分 追記 <input type="checkbox"/> 用紙が詰まった時は 追加 <input type="checkbox"/> 用紙の除去 内容変更 <input type="checkbox"/> 禁止事項 6) 追加	2021.09.08

MP-310ES

■各部の名称と働き



① 前面パネルロック部

ここを押すと前面パネルのロックを解除し、開くことができます。

② インジケータ

電源 ON で赤または緑に点灯します。

ペーパーエンド時には、赤になりオフライン状態となります。

動作エラーの時には、赤と緑が交互に点滅します。ただちに電源を OFF し、紙詰まり等があれば取り除き、再度電源を ON にしてください。

③ フィードスイッチ

このスイッチを押すと最初はゆっくりと紙送りし、押し続けると途中から速く紙送りします。

- * ペーパーがセットされた状態の時、このスイッチを押したまま電源スイッチを ON すると、本機の ROM バージョンと機能切替スイッチの設定状態を印字し、テストプリントを行います。テストプリントの印刷が終了すると受信可能状態となります。

④ 電源スイッチ

電源の ON/OFF を行います。

⑤ セレクトスイッチ

押される毎にプリンタをオンライン状態、オフライン状態に切り替えます。

オンライン …… インジケータが緑色に点灯 (外部からのデータを受信可能状態)

オフライン …… インジケータが赤色に点灯 (外部からのデータを受信禁止状態)

⑥ **紙送りノブ**

矢印の方向に回すと紙送りします。
紙送りノブを回すのは印刷不可（オフライン）状態か電源 OFF 時に行ってください。

⑦ **ペーパーエンドセンサ**

このセンサで紙切れを検出しています。

⑧ **用紙出口**

ここに紙を通し、ペーパーカットも行います。

⑨ **ディップスイッチ設定用窓**

中の基板上的ディップスイッチの設定を変更するための窓です。
設定変更時は、必ず取扱説明書を参照し、むやみに触れないようにして下さい。

⑩ **インターフェースコネクタ**

ここに信号ケーブルを接続するコネクタがあります。

⑪ **銘板**

モデル名とシリアル番号が表示されています。

⑫ **アース端子**

筐体アースを接続します。

⑬ **AC電源コード（AC100V仕様）**

電源（AC100V）を供給します。

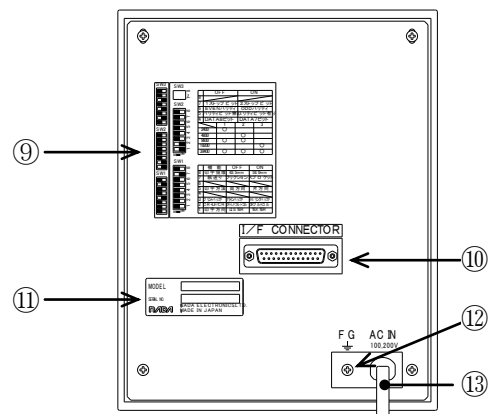
⑭ **DC電源コネクタ（DC24V仕様）**

電源（DC24V）を供給します。

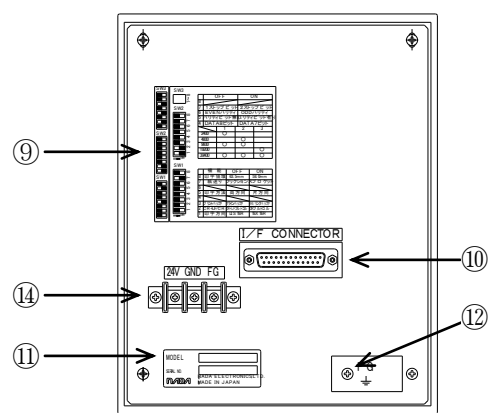
⑮ **AC電源コード（フリー電源仕様）**

電源（AC100V～240V）を供給します。
（125V 以上でご使用になる場合プラグを変更してください。）

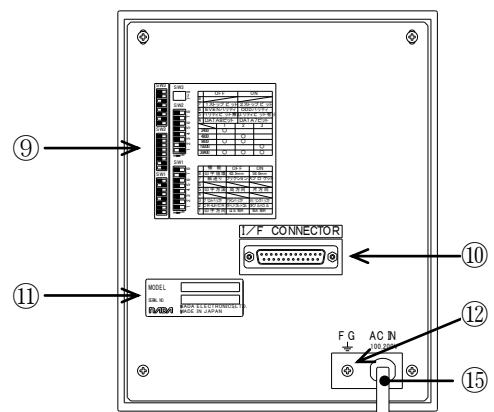
AC100V仕様



DC24V仕様

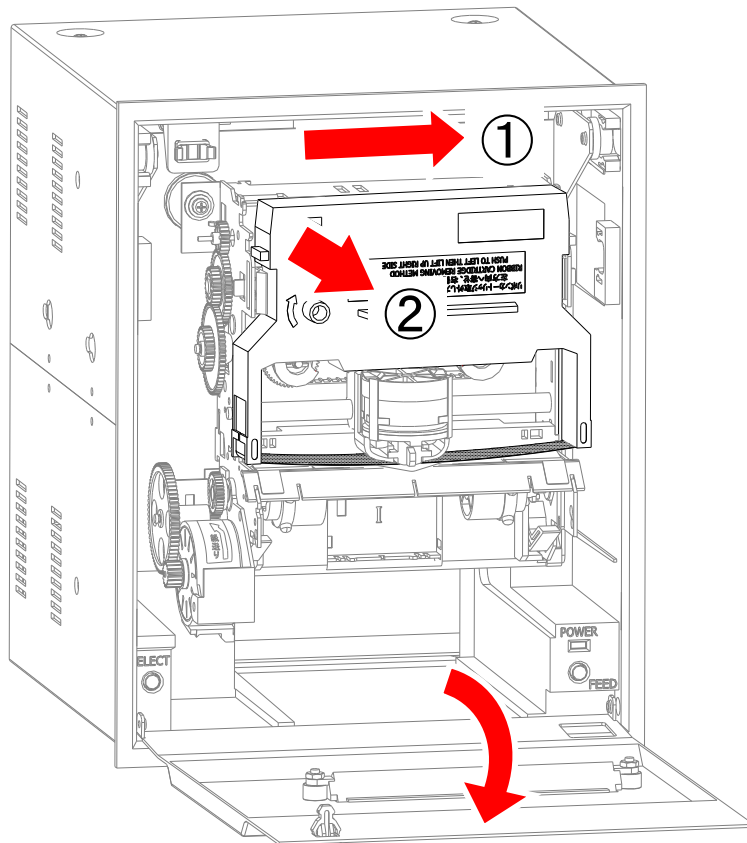


フリー電源仕様
AC100, 200V

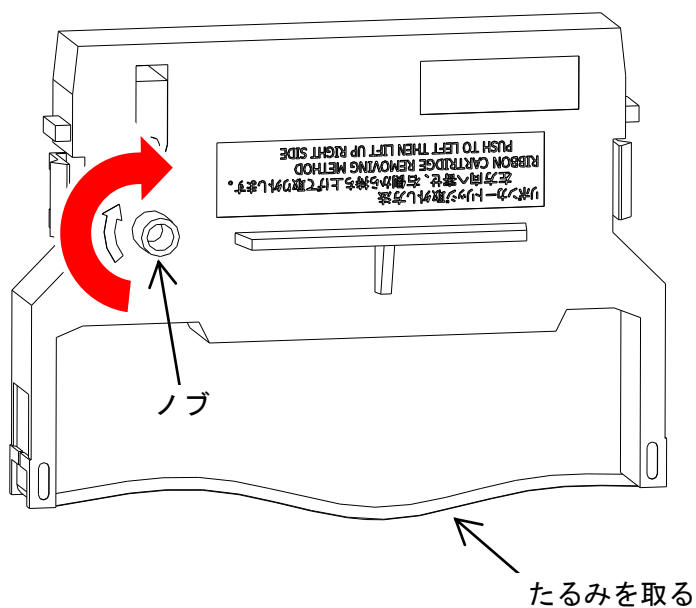


■ リボンカートリッジ交換方法とセット方法

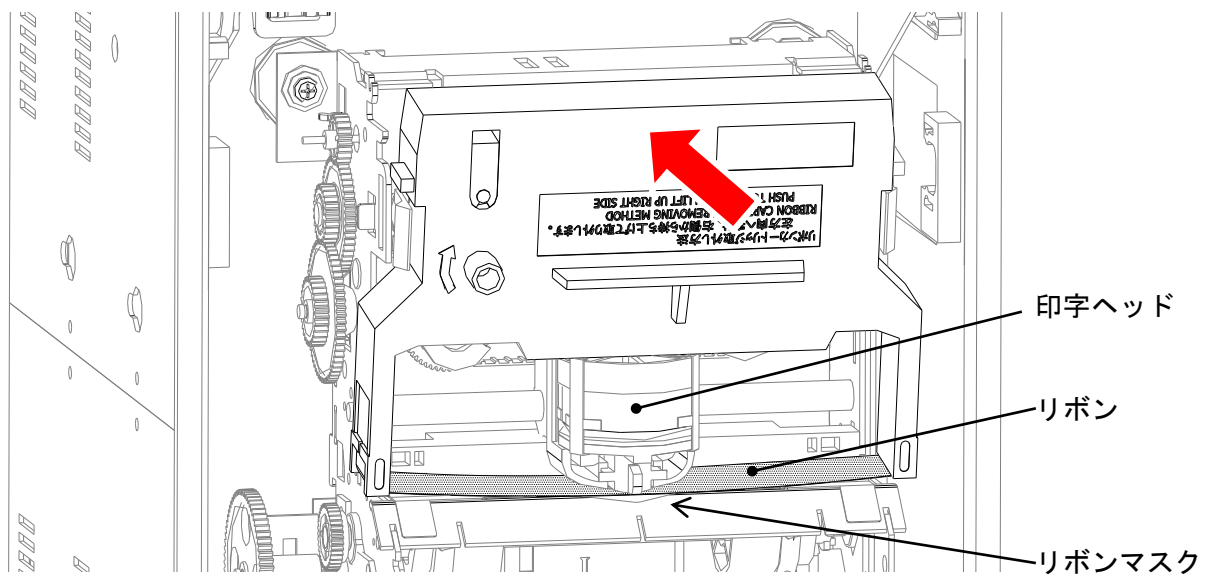
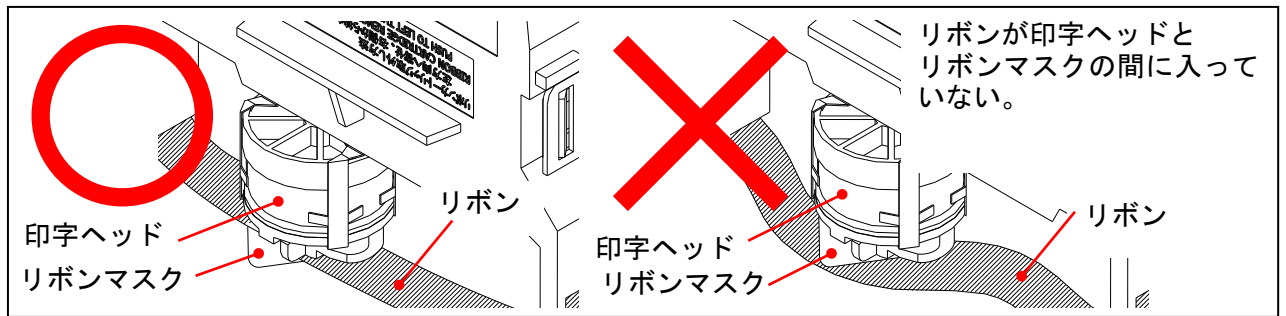
1. 前パネルを手前に開きます。
2. 交換の場合はセットされているリボンカートリッジを右（矢印①）方向によせ、左側（矢印②）を手前に引っ張り外します。



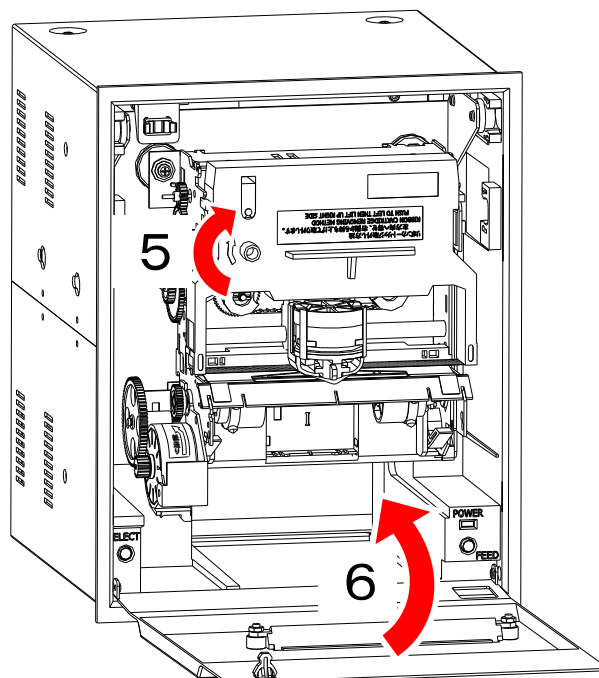
3. 新しく取付けようとするリボンカートリッジのノブを、矢印の方向に数回まわしてリボンのたるみをとります。



- リボンカートリッジのリボンを印字ヘッドとリボンマスクの間に入れてから、リボンカートリッジを押し込むとセットされます。



- きちんとセットされていることを確認し、ノブを矢印の方向に数回まわしてリボンが正常に送られることを確認してください。スムーズに回転しない場合はもう一度取り外してやり直してください。
- 前パネルを閉じます。



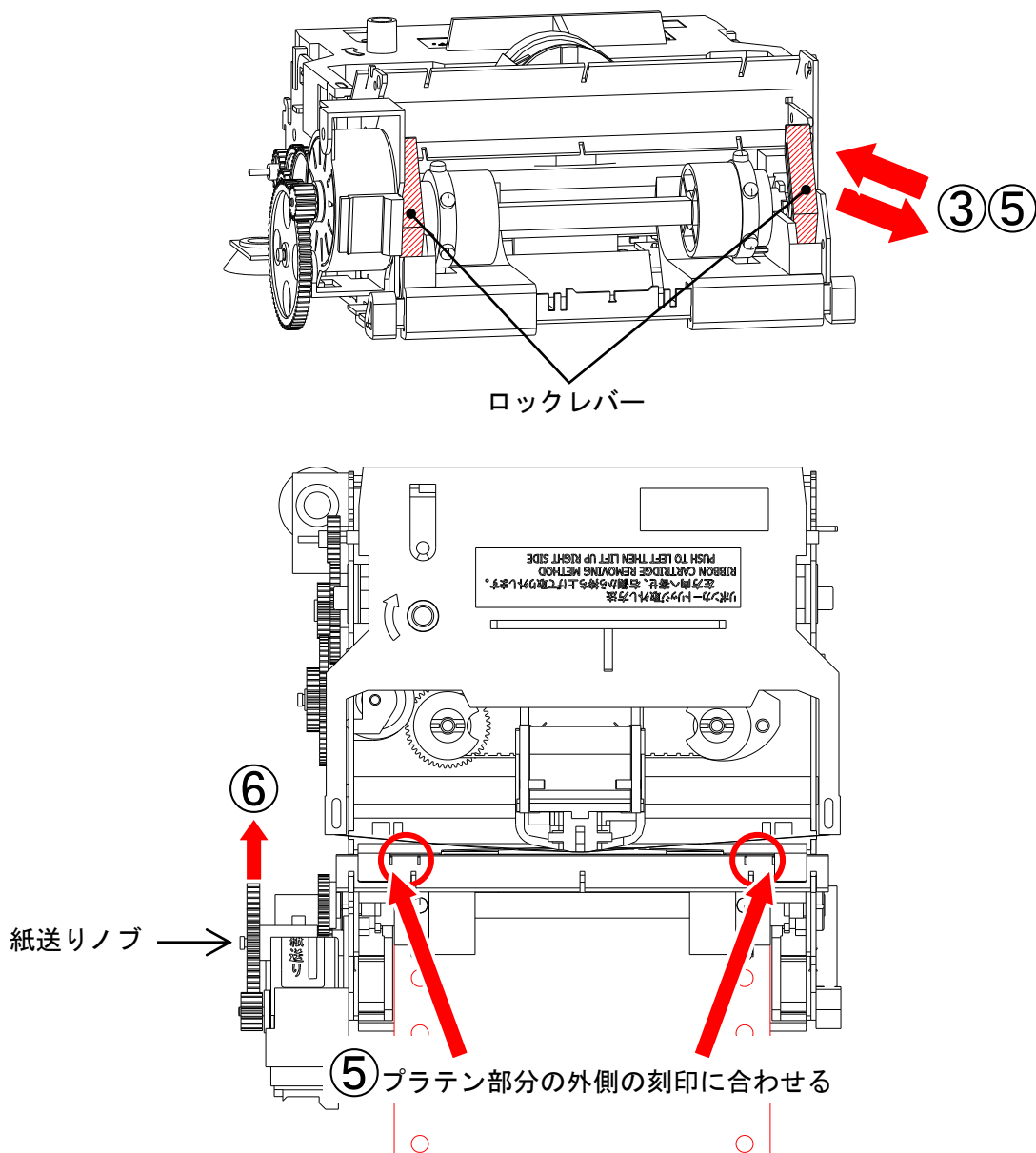
■用紙ガイドのセット方法

1. 3.5 インチ用紙の使用について

- ① 前パネルを開きます。
- ② メカユニットを手前に持ち上げます（ロックすることもできます）。
- ③ 用紙ガイド左右のロックレバーを手前側に倒します。
- ④ ガイドがフリーに動く状態にしてから、用紙を紙送りノブを回しながら挿入します。
- ⑤ 用紙がメカより出るくらいまで送り、用紙をプラテン刻印に合わせて、ロックレバーを奥側に倒して固定します。
- ⑥ 用紙ガイドの調整が終わったら、用紙ガイドの手前の用紙をミシン目で切って、紙送りノブで用紙をメカより送り出してください。

(注) 用紙がたわみ入りにくい場合は、右側用紙ガイドのロックレバーを手前側に倒し、ガイドが自由に動く状態にして用紙送り、スプロケットピンが用紙左右の穴の中央に来るように調整し、ロックレバーを奥側に倒してガイドを固定してください。

印刷可（オンライン）状態の時に紙送りノブを無理やり回すと、ギヤが破損して正常な紙送り動作が出来なくなります。

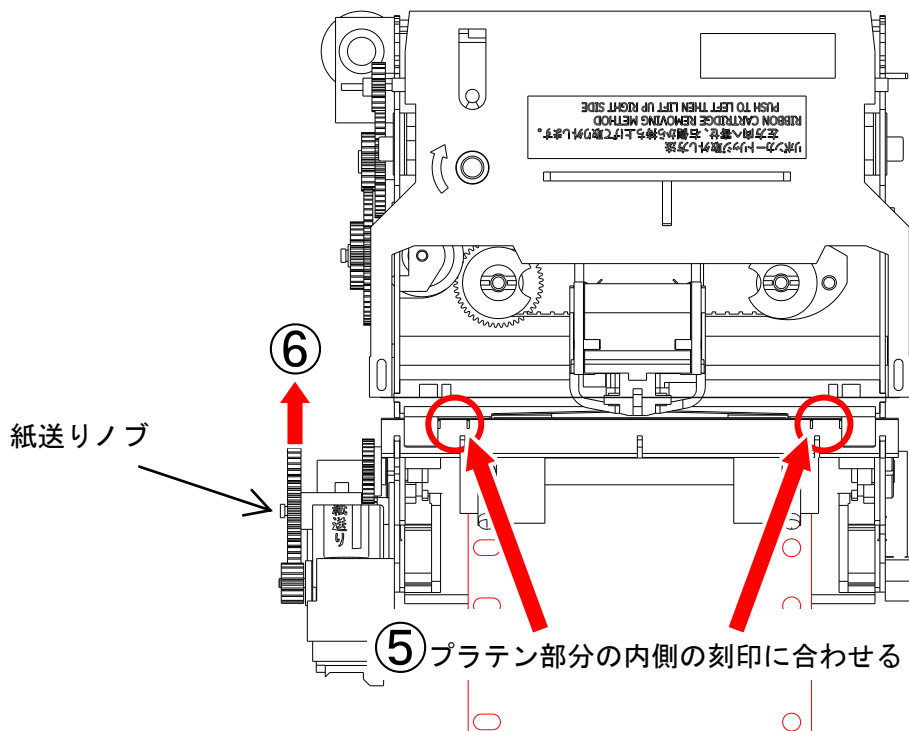
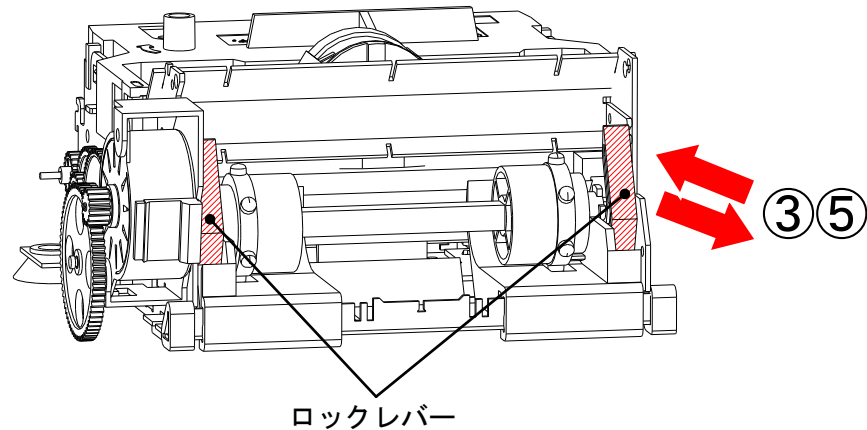


2. 3インチ用紙の使用について

- ① 前パネルを開きます。
- ② メカユニットを手前に持ち上げます（ロックすることもできます）。
- ③ 用紙ガイド左右のロックレバーを手前側に倒します。
- ④ ガイドがフリーに動く状態にしてから、用紙を紙送りノブを回しながら挿入します。
- ⑤ 用紙がメカより出るくらいまで送り、用紙をプラテン刻印に合わせて、ロックレバーを奥側に倒して固定します。
- ⑥ 用紙ガイドの調整が終わったら、用紙ガイドの手前の用紙をミシン目で切って、紙送りノブで用紙をメカより送り出してください。

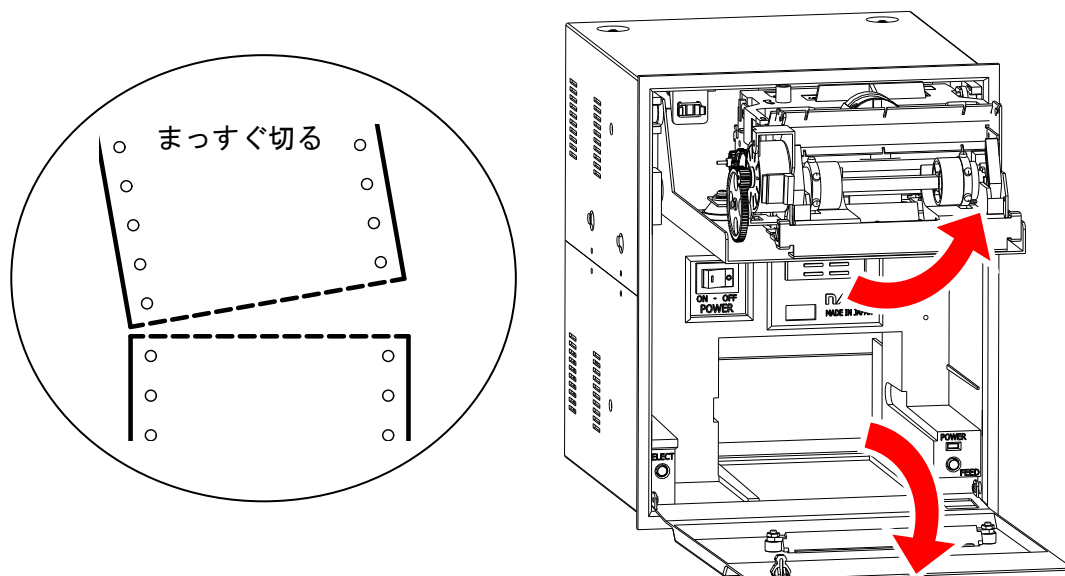
(注) 用紙がたわみ入りにくい場合は、右側用紙ガイドのロックレバーを手前側に倒し、ガイドが自由に動く状態にして用紙送り、スプロケットピンが用紙左右の穴の中央に来るように調整し、ロックレバーを奥側に倒してガイドを固定してください。

印刷可（オンライン）状態の時に紙送りノブを無理やり回すと、ギヤが破損して正常な紙送り動作が出来なくなります。



■用紙セット

1. 前パネルを開き、メカユニットを手前に持ち上げます（ロックすることもできます）。
用紙をミシン目でまっすぐ切り、セットしてください。

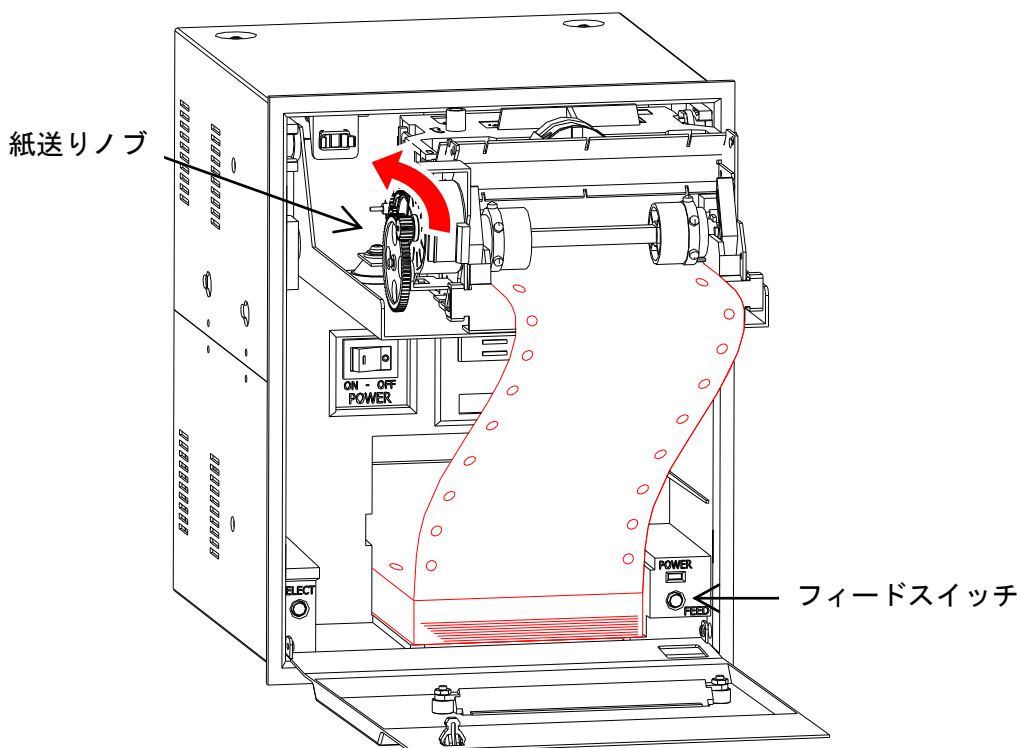


2. セットした用紙をプリンタメカの用紙ガイドに挿入し、紙送りノブを手で矢印の方向に回すかまたはフィードスイッチを押して紙送りを行い、用紙の左右の穴にスプロケットのピンを確実に噛み合わせます。

(注) 紙送りノブを回すのはオフライン状態か電源がOFFの時に行ってください。

印刷可（オンライン）状態の時に紙送りノブを無理やり回すと、ギヤが破損して正常な紙送り動作が出来なくなります。

用紙を出しすぎると、用紙を巻き戻す時に用紙のミシン目が用紙押さえ（半透明のフィルム）を巻き込む事があるので注意してください。用紙押さえが変形し、印字開始時に紙詰まりや用紙押さえが破れる原因となります。



3. メカユニットをゆっくりと下ろし、本体磁石に付く位置まで押し込みます。

(注) メカユニットと本体の間に用紙を挟まないようにしてください。

紙送りノブを手で矢印の方向に回すか、フィードスイッチを押して、用紙のたるみを取り除きます。

セレクトスイッチを押し、インジケータが緑になるのを確認します。

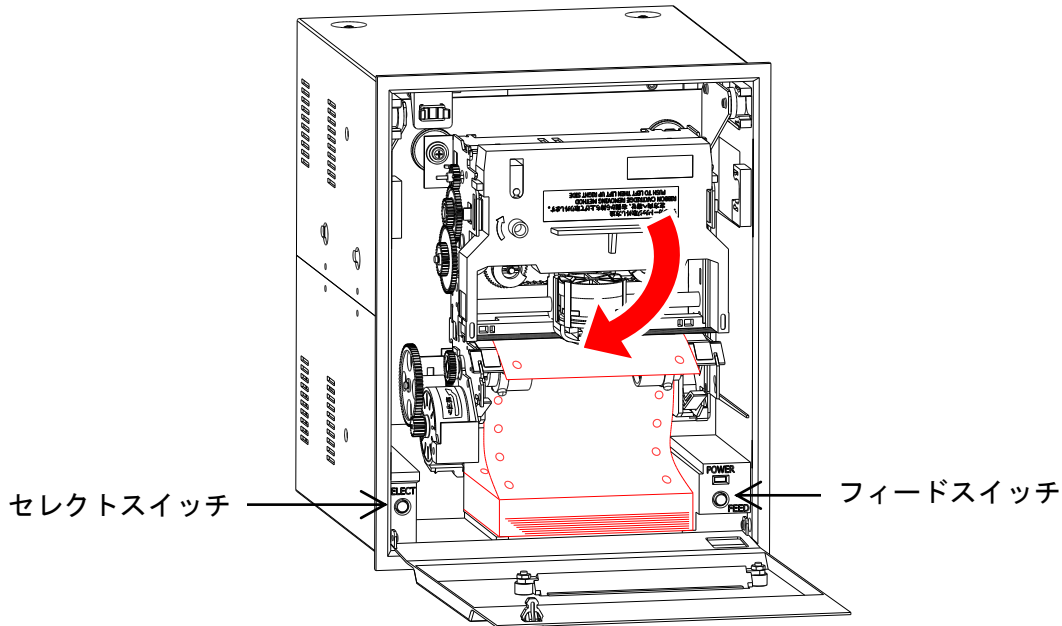
但し、ディップスイッチの設定で、用紙頭出あり(DIP SW1-7 OFF)を設定している場合は、セレクトスイッチを押すと用紙の頭出しをします。

(注) 用紙の自動頭出しはペーパーエンドの状態の直後のみ行います。

(ペーパーエンド → 印刷可ランプ消灯、紙送りランプ点滅)

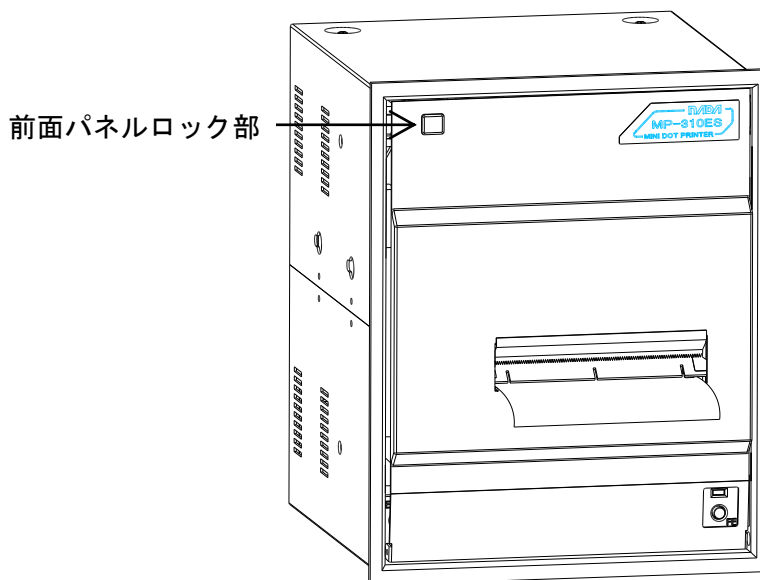
点滅が点灯に変わるまで用紙を送ってからセレクトスイッチを押してください。

電源を切った状態で用紙をセットした場合は、頭出し動作をしませんので注意してください。



4. 前パネルを持ち上げながら、用紙出口に用紙を通して閉めます。

前面パネルロック部を押して前パネルをロックします。



(注) オンライン状態にした時に受信バッファに残っているデータを印字します。

電源を入れ直した場合には、受信バッファに残っていたデータはクリアされ印字しません。

■用紙が詰まった時は

プリンタの電源を切り、用紙の詰まった原因を取り除いてから、排出側からゆっくりと用紙を取り除いてください。

取りにくい場合は、時々紙送りノブを前後に回すと取りやすくなります。

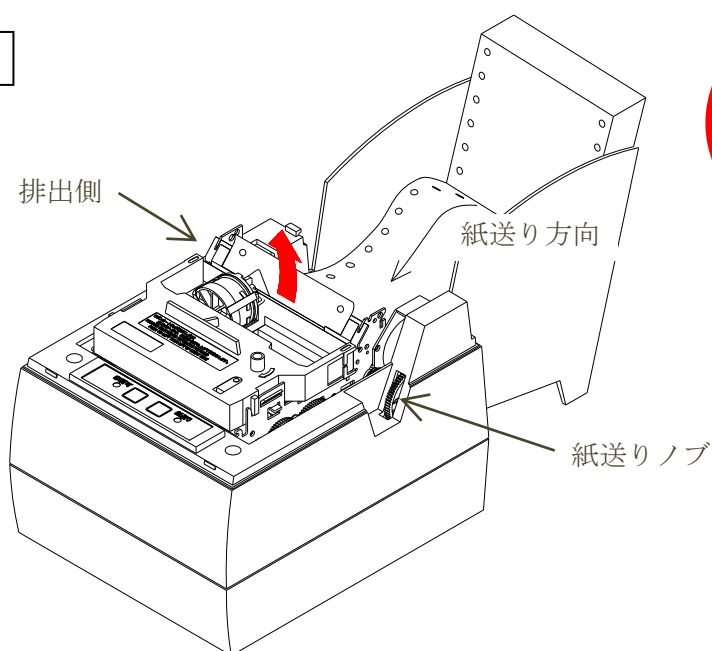
用紙を巻き戻す時に、用紙のミシン目が用紙押さえ(半透明のフィルム)を巻き込まないように注意してください。用紙押さえが変形し、印字開始時に紙詰まりや用紙押さえが破れる原因となります。

挿入側から逆方向に用紙を引き抜くと、メカニズムの破損の原因になりますので絶対にしないでください。

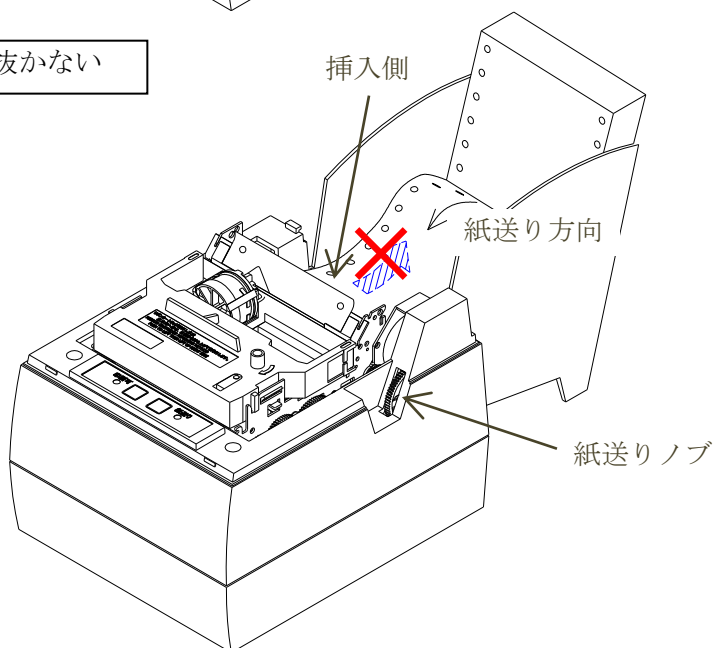
オンラインのまま用紙を引き抜くと紙送りの歯車が破損して、用紙送りがスムーズに動かなくなり同じ位置に印字が重なったり文字に白い線が入ったりする事があります。

また、用紙の詰まった原因を取り除かないで用紙を引き抜くと、ヘッドマスクが歪んだり曲がったりして正常に印字出来なくなる事があります。

排出側から用紙を引く



挿入側から用紙を引き抜かない



■スイッチ操作機能

1. テストプリント機能

① 操作方法

フィードスイッチを押した状態のまま電源を ON すると、テストプリントを開始します。セレクトスイッチを押すとテストプリントは一時停止します。再度、セレクトスイッチを押すとテストプリントの続きを印字します。電源を OFF にするとテストプリントを中止します。テストプリントの印刷が終了すると、データ受信可能状態となります。

② 機能内容

ディップスイッチの設定とキャラクタセット内のデータを印字（セルフテスト）します。

2. HEX ダンプ機能

① 操作方法

セレクトスイッチを押した状態のまま、電源を ON すると<<<HEX ダンプモード>>>と 1 行印字した後（印字後にスイッチから手を放します）、HEX ダンプモードになります。

② 機能内容

受信したデータをそのまま HEX（16 進）コードで印字します。

受信データの確認ができます。

バッファフル未満のデータは、最後のデータが入力されてから 1 秒後に自動的に印字されます。

（注）コマンドの〔機能〕は動きません。

■エラー時の復帰の仕方

1. ペーパーエンド（用紙切れ）時

① インジケータランプが赤に点灯します。

② 用紙をセットし、オンライン状態（インジケータランプが緑に点灯）にします。

③ 受信バッファにデータが残っている場合は、残りのデータを印字します（プリンタの電源を入れ直した場合、データはクリアされるので印字しません）。

2. その他メカニズムが原因のエラー時

① インジケータランプが、赤と緑の交互点滅をします。

（エラーの内容については、■インジケータランプの表示（エラー表示一覧）の頁を参照）
用紙が詰まっている場合は、取り除いてください。（電源を切って行ってください）

② プリンタの電源スイッチを再投入してください。

（受信バッファにデータが残っていたデータは印字されません）

■インジケータランプの表示（エラー表示一覧）

インジケータランプの状態	内容	対処方法
緑：点灯	オンライン状態	印字できます。
赤：点灯	ペーパーエンド（用紙切れ） オフライン状態	用紙をセットしてください。 用紙をセットした後に、印刷可 スイッチを押してください。
緑と赤の交互点滅	メカエラー	メカの故障、紙詰まり、ゴミが 溜まる等の原因で、印字ヘッドが 正常に動作できない状態に あります。 電源を OFF にして原因を取り除い てください。

（注）電源を入れ直した場合には受信バッファに残っていたデータは印字されません。

■用紙の除去

用紙の除去は、□用紙が詰まった時は（p9）見ながら作業してください。

■使用上の注意事項

1. メカ部の主な板金部は（プレス部）はメッキ鋼板を使用している為、端面に多少の錆が発生する場合があります。
2. 長期間使用しない場合は、記録紙をプリンタより取り除くこと。
記録紙を装着した状態でプリンタを長期間使用せず放置した場合、記録紙の変色、汚れが発生することがあります。
3. 製品に振動が加わる場所での使用はご相談ください。微弱な振動でも長時間加わると直接的な障害の他に二次的障害により予想外の不具合が発生する場合があります。

■禁止事項

1. 記録紙、リボンカートリッジが装着されていない状態での印字を禁止する。
2. 記録紙の紙送り逆方向への引き抜きを禁止する。
3. 結露状態での使用は行ってはならない。もし結露した場合は、結露がなくなるまでプリンタに通電しないこと。
4. 記録紙及びプラテンに異物などの付着のないこと。
5. 紙送りノブをオンライン状態の時に回す事を禁止する。
6. 印字中に用紙を引っ張らないでください。
(ヘッドマスクの歪み、曲がり、紙送りギヤの破損の原因になります。)

■保証期間と修理対象期間について

1. 当プリンタの保証期間は、出荷後 6 ヶ月間とします。
2. 保証期間を過ぎたもの及び保証期間内でユーザー側責任（使用範囲を超えた仕様並び落下などによる破損、天災など）による故障については保証外とします。
3. 保証期間内においても寿命を超える使用による故障は保証外とします。
4. 修理対象期間は製造中止後 5 年間とします。
5. メカニズム等に一部部品については、保全を前提としていないためユニットごと交換する場合がありますのでご了承ください。
本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

■リボンカートリッジ及び用紙について

- | | | |
|--------------|------------|--------------------------------------|
| 1. リボンカートリッジ | 型名 IR-61B | 寿命 260 万字 |
| 2. 用紙 | 型名 NF-890S | スプロケット 89mm 幅× $6\frac{1}{4}$ ×300 枚 |
| | 型名 NF-760S | スプロケット 76mm 幅× $5\frac{1}{4}$ ×276 枚 |

※製品改良に伴い外観、仕様その他について変更することがありますのでご了承ください。
機器設定にあたっては最新の仕様をお問い合わせ下さい。



ナダ電子株式会社

本 社	神戸市東灘区本山南町1丁目4番43号 TEL(078)413-1111 FAX(078)412-2222	〒658-0015
東 京(営)	東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル TEL(03)3455-4230 FAX(03)3455-4249	〒108-0014
名古屋(営)	名古屋市名東区上社1-1304 北村第三ビル TEL(052)776-1921 FAX(052)775-6080	〒465-0025
福 岡(営)	福岡市博多区博多駅南1丁目7-16 オーリン7号ビル TEL(092)471-8305 FAX(092)471-8355	〒812-0016